

多く観察される場所から地層全体をスケッチする。

- ② 地層の重なり方や、特徴として色などをスケッチに書き入れる。
- ③ 見えている地層で、一番目立った地層はどれか。
- ④ 今見えている丘は、いくつもの地層が重なってできていることがわかる。

(3) 地層に近づいて、地層の重なり方、厚さ、含まれているものの特徴、粒の大きさなどを観察する。

① 地層にさわってみると、**A**や**E**の層は、砂浜の砂と同じようなザラザラした感じがします。

Fの層は、白っぽい、非常に粗い砂からできています。

② **E**の砂層の粒の大きさを、上から下に注意深く観察してみよう。

粒の大きさは、上は大きく、下にいくにつれて小さくなっています。同じ地層で、だんだん粒の大きさが変化するの、たい積した環境の変化を示すもので、この場合、深さが変化したことを教えています。

③ **B**、**D**、**G**の層の粒の大きさは、クレンザーのように細かいが、これは、砂だろうか、粘土だろうか。

④ **D**の泥層には、右図のような直径1cm、長さ10cmのパイプのようなものが入っています。

これは、過去の生物の生活していた穴で、化石の一種でサンドパイプと呼ばれる生痕化石です。

⑤ **G**層の右端下の地層の色は、青灰色で同じ**G**層でも左側は、淡黄色であり、

